



# 地域の力を生かす

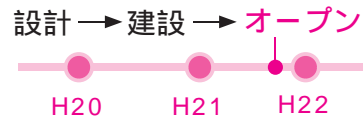
現在、深谷市では個人・団体合わせて1,915人のボランティアのかたが市社会福祉協議会に登録しているほか、各地域では、自治会や老人クラブ、PTAなどのかたが、小・中学校へのボランティア活動を行っています。

一方、いじめや不登校、子どもを狙った犯罪などが社会問題化している教育現場においては、子どもを守る地域の目というものの重要性が高まっています。

こうした状況を踏まえ、深谷市では個人・団体ボランティアへの支援を強化し、また、この地域の力を教育現場によりいっそう活かしていくとともに、ボランティアの相互交流を深めることを目的とした『(仮称)教育研究所・福祉交流センター』の建設を予定しており、9月の深谷市議会第3回定例会において、その設計予算について議決されました。

## 建設スケジュール

設計終了後、平成21年にかけて建設し、オープンは、平成21年内を予定しています。



## 建設予定地

旧深谷地区消防本部跡地に建設予定です。



特集

# 教育・福祉の連携へ 交流拠点を建設！

安心して  
子育てのできる  
まちづくり



笑顔にあふれ活力を創出する しあわせ市民都市 | 2

## 市議会第3回定例会

平成19年度深谷市議会第3回定例会が9月3日(25日の日程で開催され、議案29件、請願3件が審議されました。

また、市政一般に対する質問は、22人の議員から52件ありました。

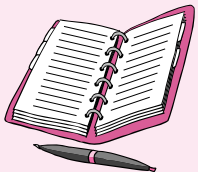
### 【主な議案】

- 平成18年度深谷市一般会計歳入歳出決算認定について
- 深谷市古河スカイ障害福祉基金条例
- 障害者福祉施設の支援を図るため、古河スカイ(株)から市に寄附された資金を基に、新たに「深谷市古河スカイ障害福祉基金」を設置するものです。

深谷市大学等入学資金融資条例  
子育て支援の一環として、大学等



登壇する、新井市長と倉上議長



の入学資金の融資制度を創設することにより、大学等に入学する者の世帯の経済的負担を軽減し、もって教育の振興を図るものです。

深谷市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例  
スクールバス廃止に関わる保育料等の改正です。

平成19年度深谷市一般会計補正予算(第1号)  
市内循環バス運行事業  
岡部・川本・花園地区への市内循環バスの導入準備に係る経費です。

(仮称)深谷市立教育研究所・福祉交流センター整備事業

## どんなメリットがあるの？

### 1 ボランティア活動の拠点

休日、夜間も利用可能なボランティアルームや、点訳室・録音・朗読室などのボランティア専用スペースの設置、ボランティアセンターによるボランティア養成講座の開催などボランティア活動の拠点となります。

### 3 子育て・教育をサポート

就学前、小学校、中学校と年齢に合わせた通級指導教室や不登校などの子どもをサポートする適応指導教室を設置します。  
児童・生徒に関して、主に学校での情報を持つ教育部門と主に家庭や地域での情報を持つ福祉部門が施設を共有することで、それぞれの情報を交換・共有することができ、誕生(中学校卒業までの一貫した教育をはじめ、子どもや家庭へのサポート体制の強化を実現します。  
また、児童・生徒が施設を利用することにより、自然にボランティアのかたとのふれあいが生じ、社会性を学ぶ機会が増えることも期待されます。

### 2 地域の力を 市内全域に

ボランティアの情報を管理し情報発信できるシステムを導入します。今まで、特定の地域・場所で活動していたボランティア団体などの情報も、地域を越え市内全域のボランティアを必要としているかたへ提供することができるようになります。

